

質問書に対する回答

(工事名) 道東自動車道 新得工事

質問事項と回答

番号	質問事項	回答
1	数量明細書 (3/7) 鉄筋 A について、設計図面より算出すると広内川橋 A : 20.427 t は 19.227 t、広内川橋 P3 : 61.772 t は 59.022 t、ペンケオタソイ川橋 P2 : 41.541 t は 39.287 t ではないかと存じます。ご確認願います。	数量明細書に記載の数量が正しい数量となります。 なお、数量明細書と図面の鉄筋数量の差は場所打杭と一体化した構造物フーチング部の帯鉄筋となります。
2	金抜き設計書番号 141 号 洗堀防止対策工について、設計図面ペンケオタソイ川橋下部工 69/69 に記載の既設 P3 の鋼矢板引抜き L=4m-8 枚は、バイブロハンマ、油圧圧入引抜き機のどちらをお考えでしょうか。ご教示願います。	積算に用いる内容についてはお答えできません。 御社の施工計画に基づき計上してください。
3	金抜き設計書番号 145 号 仮設構造物-仮栈橋設置工 A について、特記仕様書 P50 に仮設構造物の中古品の記載がありますが、新品でしか購入できない資材が含まれています。積算上は全て中古品として、新品購入は協議事項との理解でよろしいでしょうか。ご教示願います。	監督員が必要と認めた場合は変更協議の対象となります。

4	<p>金抜き設計書番号 145 号</p> <p>仮設構造物-仮栈橋設置工Aについて、参考図 17/56 に 120 t クローラークレーンの記載がありますが、栈橋に関する施工、支持杭、下部工、上部工、土留め杭は全て 120 t クローラークレーンを使用するというお考えでよろしいでしょうか。ご教示願います。</p>	<p>積算に用いる内容についてはお答えできません。</p> <p>御社の施工計画に基づき計上してください。</p>
5	<p>設計番号 27</p> <p>構造物掘削特殊部 D で、ゼロクリアランス工法を用いますが、I 基線との距離によって工法の歩掛の補正值が異なります。正確な距離をご教示願います。</p>	<p>積算に用いる内容についてはお答えできません。</p> <p>御社の施工計画に基づき計上してください。</p>
6	<p>訂正広告③ 割掛対象表 参考内訳書 (5/5)</p> <p>正の赤枠内の表記が、上段の誤の黄色枠の表記と同じです。正の内容をご教示願います。</p>	<p>正の内容のとおりとなります。</p>
7	<p>設計番号 42</p> <p>P2 橋脚での場所打ちコンクリート杭で、N 値ごとの掘削長と土質を示した資料はどちらに記載がございますでしょうか。ご教示願います。</p>	<p>参考図 ペンケオタソイ川橋（下り線）P-2 橋脚施工ヤード造成図（参考図）を確認の上、数量を算出ください。</p>
8	<p>設計番号 54</p> <p>土工部の数量が、新得工事の数量明細表 (3/7) では 130.7m³ となっていますが、トマム IC～十勝清水 IC 間道路詳細設計の数量総括表 (6) では、204.8m³ となっています。</p> <p>正しい数量と打設量ごとの数量内訳をご教示願います。</p>	<p>コンクリート D1-1 の土工部 130.7m³ はコンクリートブロック積で使用するコンクリートであり、コンクリートブロック積に含まれます。なお、数量内訳に関しては「附帯工・雑工」図面 6/40、7/40 をご確認ください。</p>
9	<p>設計番号 70</p> <p>鉄筋 C とありますが、特記仕様書 P38 では B2 の説明が記載されています。</p> <p>どちらが正しいのでしょうか。ご教示願います。</p>	<p>特記仕様書 30-5-3 (1) 種別が正となります。</p>

1 0	設計番号 145 仮棧橋工の支持杭 H-400 に使用する充填材の規格をご教示願います。	参考図 広内川橋 仮棧橋計画図 (2/3) に記載のとおり砂充填となります。
1 1	雑工事費、沈砂池費 沈砂池の図面はどちらに記載がございますでしょうか。ご教示願います。なお、記載がない場合は、形状などをご教示願います。	「割掛対象表 参考内訳書」に記載されている「沈砂池費」の「数量内訳 (参考)」に基づき、貴社の施工計画に基づきお考えください。